

令和9年度当初予算編成について

1. 基本的な考え方

「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向けて、県民の皆様が住んでいることを誇りに思い、これからも住み続けたいと思える、多くの国内外の方々が魅力を感じ、訪ねてきていただける場として「選ばれる」よう、施策を積極的に推進します。

2. 予算編成の視点

○ 将来的な人口定常化を目指し、現在よりも少ない人口であっても成長力のある持続可能な社会の構築に向けて、中長期的な視点から、分野横断的な対応が必要な重要課題をはじめ、本県が抱える様々な政策課題にしっかりと対応します。

- ・子育てに優しい社会の実現
- ・持続可能で暮らしやすい地域社会の構築
- ・高い付加価値を創出する産業構造への転換
- ・国際拠点化と戦略的な海外展開・交流促進
- ・脱炭素社会への転換
- ・デジタル改革を通じた生産性向上や社会課題の解決 等

○ 人や企業、投資を呼び込む成長戦略を展開し、経済が元気で活力のある強い新潟、若い世代から働く場所として選ばれる新潟を目指し取り組みます。

○ 行財政基本方針の下、引き続き堅実に収支を見通しながら、持続可能な財政運営の実現に向けて取り組みます。

3. 予算編成のフレーム

「基本的な考え方」及び「予算編成の視点」を踏まえ、現時点での予算編成フレームは以下のとおりですが、最終的には予算編成過程において決定することとします。

- 本県が抱える様々な政策課題に対応する重点施策等については、賃上げや物価高騰等の動向を踏まえつつ、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドによる選択と集中を実施し、本県が誇る魅力・特色をさらに伸ばし、活用する事業など、より効果の高い事業への再構築を徹底します。
- 地域経済の活性化につながる取組など、活力ある新潟県づくりを進める施策を積極的に推進します。
- 投資的経費については、公債費負担適正化計画で算出された実負担をベースに、国の補助金や地方財政措置の手厚い有利な県債を積極的に活用し、必要な事業規模を確保します。
- 原子力発電所の立地に伴う安全対策を着実に進めます。

予算規模については、上記の考え方に基づいて必要な予算を厳格に見積もった上で、経済情勢、国の予算や地方財政措置などの状況を踏まえ、編成過程において最終決定します。

予算編成作業スケジュール（予定）

	国の動向	令和9年度予算編成日程（予定）	県議会
9月		予算編成通知 経常的経費 (運営費等) ・新年度施策の検討 ・課題の抽出、施策効果の検討等	
10月		↓ 下旬 要求書提出期限	
11月			
12月	税制改正 政府経済見通し 地方財政対策 政府予算案	下旬～1月下旬	定例会 (12月) ↓
1月	地方財政対策 (詳細)	↓ 主要施策の具体化 ↓	
2月		上旬 中旬 知事最終調整 当初予算案記者発表 中期財政収支見通し（改訂）の公表	定例会 (2月) ↓

※ 日程については、現時点での予定です。